



座間市議会議員選挙 神奈川ネット公認決定



ながせ 長瀬 みさ

1982年/静岡県富士市生まれ 2005年/津田塾大学学芸学部卒業 NPO法人ACTIONに勤務 2011年/アクティブ・ママ代表 座間市入谷西在住

新型コロナウイルス対策では情報の徹底を ~ひとりで悩まないで~

共同代表 佐々木ゆみこ(ネット宮前/県議)

新型コロナウイルス対策では情報の徹底を ~ひとりで悩まないで~
新しいインフルエンザ等対策特別措置法(コロナ特措法)に基づく緊急事態宣言が4月8日に発動されました。東京都での感染拡大、医療崩壊寸前となっている現実があり、都への流入人口が約107万人の神奈川県でも感染拡大が続いています。感染の終息に向けて、日常生活の制限は必要とされます。

教育現場

新型コロナウイルス感染拡大により、市民生活が混乱しています。突然の学校休校や休校延長など、子どもにとってもストレスが溜り始めています。外にも遊びにいけない、スマホやゲームに向かう時間が長くなっている子どももいます。使用時間を決めていても、時間も体力も有り余っている子どももいます。

高齢者

高齢者入居施設ではウイルスの持込は絶対に避けなければならず、スタッフの緊張感が高まるばかりです。一方で、家族面会が出来なくなり、スタッフに付き添われて公衆電話で話をすることだけしか出来ない親御さんから「寂しい」と何声も届いています。

DVや児童虐待

外出ができなくなることで、家庭内での暴力が発生しやすくなっています。逃げる場所もなく、声をあげることもできない状況に陥る人や子どもへの救済は緊急課題です。相談窓口の充実や受け入れ先の拡充などが求められています。

雇用と生活支援

学校休校や外出自粛が長引き、働けない状態にある人が増えています。さらに自宅待機や雇止め、解雇などにより、突然収入が減ったり、無くなったりすることで生活が回らなくなる事態も発生しています。2016年厚労省の調べでは、世帯貯蓄がゼロ、または100万円以下の世帯は23.1%、母子世帯では55.5%に上ります。さらにアルバイトで学費や生活費を稼いでいた学生をも考えると、生活支援・救済は喫緊の課題です。

止まらない横浜市IR(カジノ)事業に中止を要望

横浜市は、市民への説明責任は、市長自ら行うと約束しながら、一部の区は、市民説明会も開催できない状態のまま、IRの方向性(案案)のパブリックコメントを締切しました。

連日、市内でも新型コロナウイルス感染拡大が止まらず、経済的損失の見当もつかないなか、IR(カジノ)事業について、予定通り推進する姿勢は納得いくものではありません。

市民の住民投票条例を提案する直接請求活動は、新型コロナウイルス感染拡大の恐れを鑑み、一旦延期と英断しました。

横浜市の規模からは、県内自治体への影響は計り知れないものがあり、県内自治体のトップに立ち、新型コロナウイルス感染拡大防止にむけ、取り組んでほしい旨の要望を提出しました。

生活困窮に関する無料相談窓口

NPO法人POSSE TEL:03-6693-6313 月水金 18~21時 土日祝 13~17時

「住居確保給付金」各自治体担当窓口

住居確保給付金の支給 家賃相当額を支給します。離職などにより住居を失った方、または失うおそれの高い方には、就職に向けた活動をするなどを条件に、一定期間、家賃相当額を支給します。生活の土台となる住居を整えた上で、就職に向けた支援を行います。 ※一定の資産収入等に関する要件を満たしている方が対象です。

神奈川県内の市区町村社会福祉協議会

Table with 5 columns: City/Town/Village, Phone Number, City/Town/Village, Phone Number, City/Town/Village, Phone Number. Lists contact info for various municipalities in Kanagawa Prefecture.

実施主体: 社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会 (地域福祉推進部 生活支援担当) 連絡先: 〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2 電話: 045-311-1426 (受付時間 月曜日~金曜日 9:00~17:00)